



相撲の全国大会、近畿大会 川本君(辰中)、池尻君(柳中)が健闘

辰美中学校3年の川本成記君が全国大会と近畿中学校相撲大会に、また私立柳学園中学校1年の池尻実君が近畿大会に出場



町長から激励を受ける川本君(左)と池尻君(右)

が決まり、8月6日に西淡町役場で激励会が開かれました。

大会の成績は、川本君が全国都道府県中学生相撲選手権大会の団体戦で3位に、また池尻君が近畿中学校体育大会(相撲個人戦)で3位に輝きました。

西淡町将棋大会
(七月十八日
松帆活性化センター)

●有段者の部
優勝 福川浩一(洲本)
準優勝 森本秀彦(西淡)
三位 広岡 茂(三原)

●一般の部
優勝 水本喜皓(洲本)
準優勝 前川大輝(西淡)
三位 武市 忍(緑)

成績

サッカー日本代表 アジアカップ優勝! 湊・加地選手が全試合フル出場



7月17日～8月7日、中国で開催されたサッカーのアジアカップ。湊出身の加地亮選手が日本代表として出場し、日本の連覇に貢献されました。

加地選手は昨年9月の欧州遠征時に初選出されて以来、ジーコジャパンの右サイドバックを任されてきました。本大会においても全試合にフル出場し、鋭い突破と堅い守りで勝利に貢献。今後の活躍が期待されます。

40歳以上サッカー全国大会へ! 船木選手(松帆)、曾根選手(湊)

船木茂浩選手(松帆・MF)と曾根和浩選手(湊・DF)が40歳以上のサッカー兵庫県代表チームに選ばれました。県代表チームは6月の近畿大会に優勝し、日本スポーツマスターズ(9月23日～26日)の出場を決めました。



船木選手(左)と曾根選手(右)

西淡町小学校水泳記録会成績

(7月22日・松帆小学校プール)

(敬称略)

種目	6年	5年	4年
自由形 25m	男子 中村 聡(湊) 17秒9	奥野 敬太(阿那賀) 19秒3	大住 直輝(松帆) 18秒2
	女子 高田 杏菜(松帆) 16秒4	福田みな未(松帆) 山口 有子(津井) 18秒1	中尾 玲華(丸山) 15秒9 <大会新>
自由形 50m	男子 田丸 亮太(湊) 39秒2	中原 智(松帆) 48秒6	
	女子 嶋田恵莉香(丸山) 33秒9 <大会新>	登 日々季(津井) 40秒8	
平泳ぎ 25m	男子 三宅 翔太(松帆) 21秒8	畑野 隼人(湊) 27秒3	
	女子 嶋田恵莉香(丸山) 21秒8	登 日々季(津井) 24秒7	
平泳ぎ 50m	男子 三宅 翔太(松帆) 49秒4	林 正隆(湊) 1分8秒3	
	女子 高田 杏菜(松帆) 48秒1	柏木 祐里(松帆) 福田みな未(松帆) 55秒6	
背泳ぎ 25m	男子 森 啓悟(湊) 30秒2	野島 翼(湊) 35秒8	
	女子 松谷麻衣子(阿那賀) 20秒1	油本 桜(松帆) 21秒7	
リレー 100m	松帆A 1分10秒7	志知A 1分19秒1	松帆A 1分15秒4

優勝 アサヒシーフード
準優勝 マリナーズ
MVP 菅 浩二
阿那賀クラブ

西淡町野球協会
会長杯争奪リーグ戦大会
(七月六日～八月十一日
町民グラウンド)

西淡町子ども会球技大会
(ドッジボール)

SPORTS & スポーツ

七月十八日、松帆小学校体育館で西淡町子ども会球技大会(ドッジボール)が開催されました。優勝は志知川子ども会、準優勝は高屋・脇田子ども会、三位は古津路子ども会。上位三チームは、郡大会(八月八日・社教センター)に出場し、志知川子ども会が準優勝、高屋・脇田子ども会が三位に入賞しました。

七月十八日、松帆小学校体育館で西淡町子ども会球技大会(ドッジボール)が開催されました。優勝は志知川子ども会、準優勝は高屋・脇田子ども会、三位は古津路子ども会。

西淡町子ども会球技大会
(ドッジボール)

第2回 地籍で進めるまちづくり 「地籍調査の必要性について」

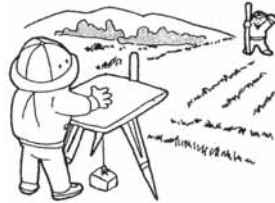
現在、土地の所有権を公的に証明できるものとして、「土地登記簿」、その土地の位置を表すものとして、「界限図」が法務局に備えられています。しかし、それらは、明治時代の地租改正によって作成されていますので、現在ほど正確に計測されていません。また、長い年月を経過し現状と一致しない箇所があるなど、公共事業や土地取引だけでなく、様々な面で支障が生じています。このようなことから、土地の権利や境界を保護するためにも、より正確な土地登記簿及び地図を整備しなければなりません。本来ならば自分の土地（財産）を明確にするのは、所有者自身でしなければならぬことですが、多くの費用と労力を要します。（本事業において負担金は必要ありません。）

測量技術の変遷

明治の測量（十字法）



初期の地籍測量（平板測量）
（昭和32年～57年頃）



現在の地籍測量
（トータルステーションによる数値測量）



神戸地方裁判所

裁判員制度を知っていますか？

十六年五月二十八日）から五年以内に実施されます。

裁判員は、どうやって選ばれるの？

二十歳以上の国民のみなさんの中から、抽選で候補者を選びます。実際に裁判員になるのは、この候補者の中から事件ごとに選任のための手続きにより選ばれた人たちです。

裁判員は何をするの？

裁判官三人と裁判員六人が一組となり、法廷で検察官の主張や被告人・弁護人の主張、証拠の内容を見聞きした上で、被告人が有罪かどうか、また有罪であるとしたら、どのような刑が適当か議論して決めます。

裁判員はどんな事件に参加するの？

殺人罪、強盗致死傷罪、放火罪などの重大事件です。

裁判員に選任されるとどのくらいの期間、裁判所へ行かなければならないの？

多くの裁判は数日間です。裁判所としても充実した裁判を行い、国民のみなさんの負担を軽くするように努力していきます。

法律を知らないけれども大丈夫なの？

裁判員の仕事をしていたくのに必要な知識、例えば、裁判員の権限や、刑事裁判の基本的なルール、法律の内容などについては、裁判官が丁寧に分かりやすく説明しますので、ご安心ください。

裁判員になることは辞退できないの？

広く国民のみなさんに参加していただく制度ですので、基本的に辞退はできないことになっています。ただ、学生や七十歳以上の方は辞退できますし、病気や介護などの事情で裁判所に来ることが難しいと認められた方も辞退することができます。

経済的な補償はしてもらえないの？

旅費や日当などが支給されます。なお、法律によって裁判員の職務を行うのに必要な時間は職場を離れることが認められています。また、雇用主は裁判員の職務を行うために休暇をとったことなどを理由として、不利益な取り扱いをしてはならないこととしています。

詳しくは裁判所ホームページ <http://www.courts.go.jp/> をご覧ください。

いつから実施されるの？

「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」の公布の日（平成

導入されることにより何が変わるの？

法律の専門家ではない国民のみなさんが刑事裁判に参加することにより、裁判が身近でわかりやすいものとなり、司法に対する信頼の向上につながると期待されています。



南あわじ市誕生まであと132日 4町のすがたに迫る！

毎月テーマに沿って4町の特徴を紹介します。
今回のテーマ「まちの文化財」

西淡町

国指定・三つの銅鐸

玉青館でレプリカを展示中

西淡町にある国指定重要文化財の三つの銅鐸。写真左は津井・隆泉寺所蔵で、日本で製造された最も古い型式のもの。写真中央は松帆・日光寺所蔵で、全国でも三例しかない舌という銅の棒を伴ったもの。写真右は松帆・慶野地区所蔵で、四ツ足の獣の文様があります。どれも歴史的価値のあるもので、滝川記念美術館玉青館（松帆西路）ではレプリカを展示しています。ぜひご来館ください。



西淡町が誇る三つの銅鐸（国指定）

緑町

木造薬師如来立像

緑町を代表する文化財として、県指定重要文化財の木造薬師如来立像があります。平等寺（倭文庄田）にまつられるこの立像は、昭和四十三年に指定され、漆箔、百五十八の堂々たる風ぼうを持つています。丸くなだらかな肩の線、ゆつたりと豊かな体つきや流れるような衣装のひだが藤原彫刻の特色を備えており、十二世紀前半をくだらない時期の制作と考えられます。



歴史の語り部 木造薬師如来立像

三原町

成相寺と国分寺の本尊 は国指定重要文化財

成相寺（八木馬回）の本尊、薬師如来立像は平安時代初期の作で淡路最古の仏像。頭頂から足下までが一本の木で作られています。正式名を薬師瑠璃光如来といい、瑠璃光をもって病苦を救いたまう如来です。国分寺（八木国分）の本尊、釈迦如来坐像は、暦応三年（一一三〇）大仏師法橋命円らによって造られたことが記されています。楠の寄木造で堂々たる風情をもっています。



釈迦如来坐像 薬師如来立像

南淡町

護国寺の 木造大日如来坐像

淡路七福神巡りの一つ、布袋尊の霊場である護国寺の本殿には、木造大日如来坐像があります。この像は、平安末期の作品で、ヒノキ材による寄木造りです。明治三十四年、国宝に指定され、現在は重要文化財（美術工芸品）に指定されています。特徴は「胎蔵界」の大日如来であり、全体としてまことに穏やかな表情をしています。毎年、お盆とお正月の各三日間に一般公開されています。



穏やかな表情の木造大日如来坐像

せいだん文芸欄

つれづれ抄

俳句 花 藻 会

岸登へ船足落とす大西日

柴田きよみ

人気なき午後の校庭蝉しぐれ

田中 昭子

牛蛙水郷の夜のなまぐさき

富岡 鼓橋

蝉しぐれ耳になじみて墓参り

中川美代子

グランドを去りゆく生徒百日紅

長江 南水

鐘ついて余韻の残る広島忌

西岡とくゑ

見くらべて出来を見通す青田

橋本 武美

枝川に魚も動かぬ猛暑かな

原 茂美

西淡町合併史

三原郡合併の胎動 — 広域行政から合併へ —

経済社会の広域化

昭和五十一年七月二日、鳴門市亀浦において、大鳴門橋着工式が挙行され、昭和五十三年九月七日、松帆志知川で西淡三原インターチェンジ建設用地で、淡路縦貫道(本州四国連絡道路)の起工式が挙行された。それは「第二の国生み」といわれた淡路島の経済社会の大変革の始まりであった。

この頃、三原郡においても国道、県道、町道が改修整備されるに伴い、自動車使用が急速に増大し、住民の生活圏も拡大した。経済社会の広域化に伴い、三原郡各町とも広域行政を進めて対応していた。

三原郡広域事務組合

三原郡生活文化会館の玄関には三原郡町村会事務所と三原郡広域事務組合の二枚の表札が掲げられている。昨年七月号「広報せいだん」で「まとまりの良い三原郡」という副題で、旧町



▲三原郡生活文化会館 (三原町市善光寺)

三原郡町村会

三原郡町村会は緑・西淡・三原・南淡の四町長で構成する団体である。三原郡町村会(町長会)は三原郡議長会と合同会議を開くことも多く、両者の連絡を密接にしているのが三原郡の特色である。

三原郡町村会事務局は町長会・議長会の事務局のみでなく、三原郡全域に亘る事業、例えば戦没者追悼、青少年健全育成、健康大学、老人大学うずしお学園、全国人形芝居サミット、防犯育成・助成事業として、

村制時代のことを書いた。昭和の合併以後も、地方自治法による事務組合として広域行政を推進してきた。例えば、三原郡養護老人ホーム、三原郡神戸寮、三原郡火葬場、三原郡休日診療所、そのほか農業共済、衛生センター、清掃センター、訪問介護ステーション、学校給食、小規模作業所(きさら)・知的障害者通所授産施設(ウインズ)、ケーブルテレビなど多くの事業を展開している。

また、淡路全域に亘る広域事務組合、常備消防と救急の広域消防事務組合、淡路水道企業団などもある。



▲三原郡小規模作業所きさら (三原町神代浦壁)

淡路人形協会、保護司会、老人クラブ連合会、遺族会、福祉医療、公衆衛生、駅伝大会選手派遣などがある。その他、いろいろな郡全体にまたがる各種事業の事務局を引き受けて、まとまりのよい三原郡をつくりあげてきた。しかし、広域行政では間に合わない時代になってきた。

第一次自主合併審議

昭和四十五年、淡路一市十町で組織する淡路総合開発促進協議会(会長・洲本市長山本安郎)で、淡路一市を大同合併する淡路市構想が話し合われていたが、各市町の歩調は全く整っていなかった。

そこで三原郡町村会(会長・南淡町長森勝)は実現の可能性のある三原郡四町を合併して市制を実施し、郡民の要望にこたえ、行政の責任を果たそうという動きが起こってきた。

昭和四十五年十月、四町の町長、議長、議会選出委員三名の第一回協議会が開かれ、次の二つの組織を作った。

①淡路三原市合併研究調査会(会長・南淡町長森勝)

②三原郡合併研究委員会(委員長・松井俊三)

なお、②に付設して三原郡合併調査室(室長・菊川三慶)が設置され、各町より各一名の出向職員で調査資料を作成した。

昭和四十八年五月、合併研究委員会より合併調査研究会長(町村会長)に答申(報告書)が提出された。

この報告書は各町議会に送付され、各町議会は全員協議会で検討した。

この七月、緑町長の改選、町会議員選挙があり、町長に新人、議員も大部分新人が当選した。合併問題の取り組みに変化があり、緑町はオプザーバー(立会人)の立場になった。

昭和四十九年三月、右の二つの機関の合同会議で、三原郡合併審議会(諮問機関)の設置を決定し、審議委員の人選と広報三原郡合併特集号を発行し、情報伝達に努めることになった。

昭和四十九年四月十九日、淡路信用金庫市支所会議室で三原郡合併審議会が開かれた。この時の西淡町からは、町長の川上仁、議長の浜田悦雄、特別委員の福原源八と藤本春美、審議委